2026年度 第2回

東北観光推進機構　広域観光分析レポート

2026年11月11日発行

東北観光DMP

Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北
東北観光推進機構

■本レポートに関する基本用語集

【東北観光DMP】
・東北観光推進機構が運用・提供するデータマネジメントプラットフォーム。
・観光マーケティングデータをプラットフォーム内で一元管理。
・動態（人流）データ、消費購買データ、Web・SNSアクセスデータなどを格納。

【海外動態・国内動態】
・海外（インバウンド）観光客および国内観光客の動態データ。
・海外動態は携帯電話基地局への接続状況を基にしたデータ（モバイル空間統計）、国内動態はスマートフォンの位置情報アプリを基にしたデータを使用。
・使用する各データには、いずれも拡大推計を行った数値が用いられている。

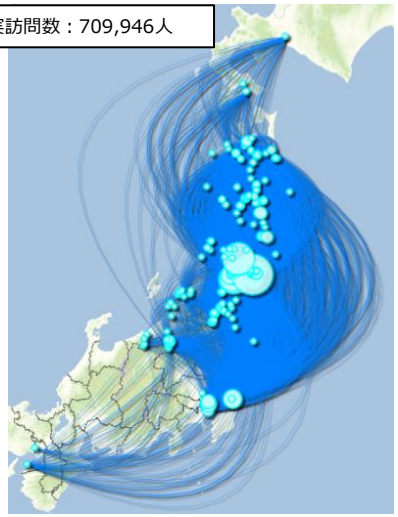
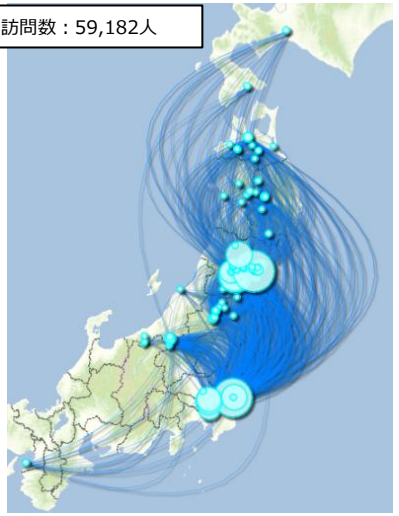
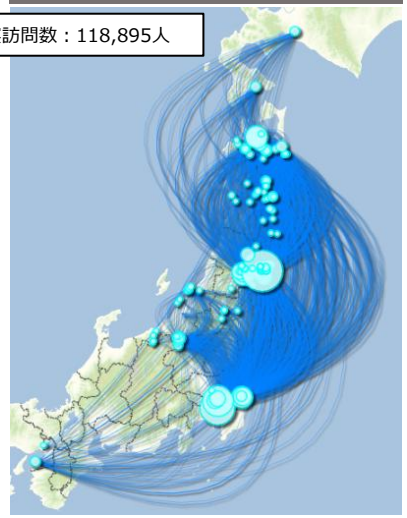
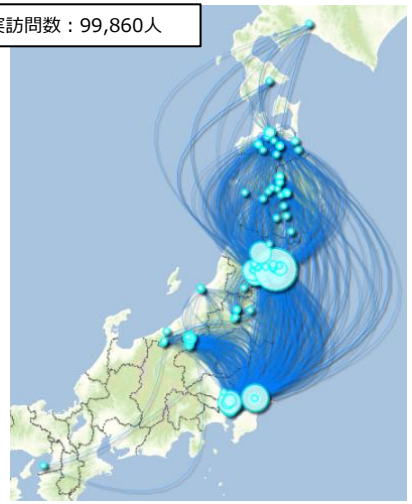
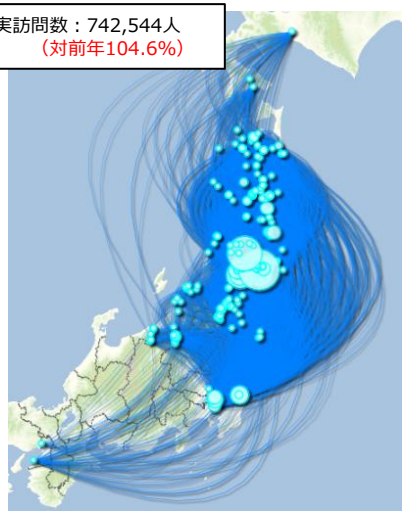
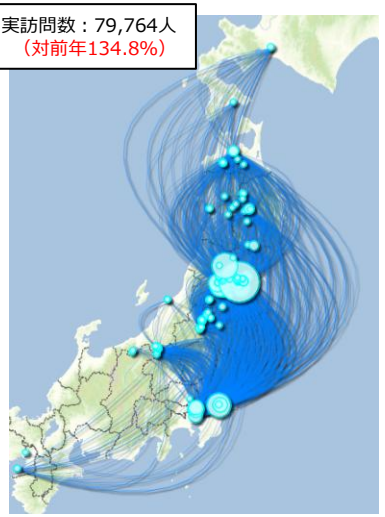
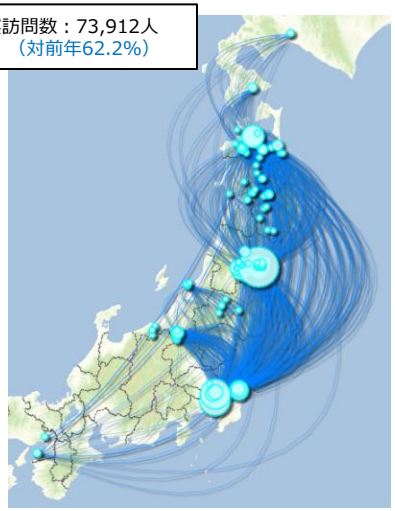
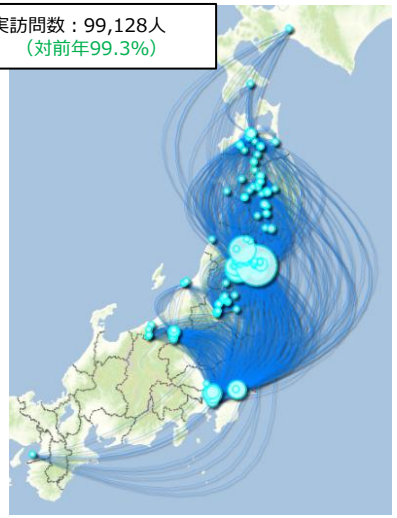
●海外動態
【実訪問数・スポット訪問数】
・スポット（1kmメッシュ）内に1時間以上滞在した者の数。
【他訪問数・他スポット訪問数】
・あるスポットを基準として、そのスポット訪問者が同一行程の中で訪問した他のスポット内に1時間以上滞在した数。
【観光客数】
・10:00～17:59の間、同一市町村内に2時間以上滞在した者の数。
【宿泊客数】
・深夜2:00～4:59の間、同一市町村内に2時間以上滞在した者の数。

●国内動態
【延べ滞在数】
・1kmメッシュ内に20分以上滞在した者の延べ人数。

2026年1月～3月における
インバウンド観光客の周遊動態について

■東北6県・新潟域内スポットのインバウンド訪問・周遊動態

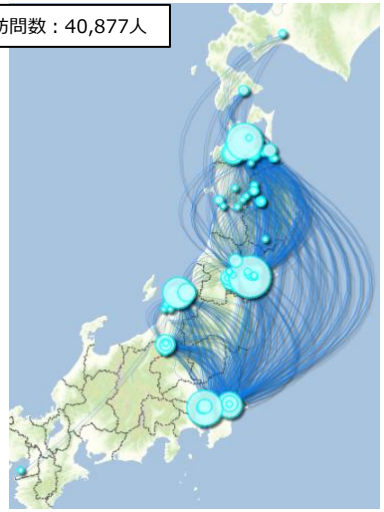
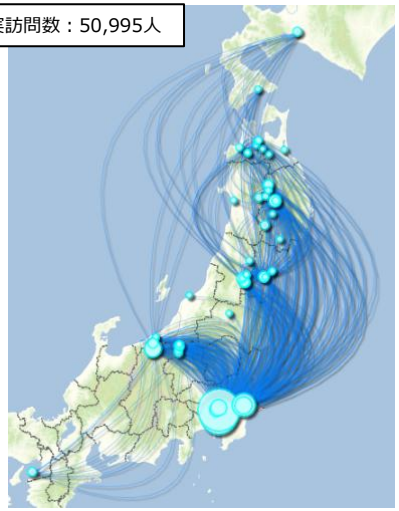
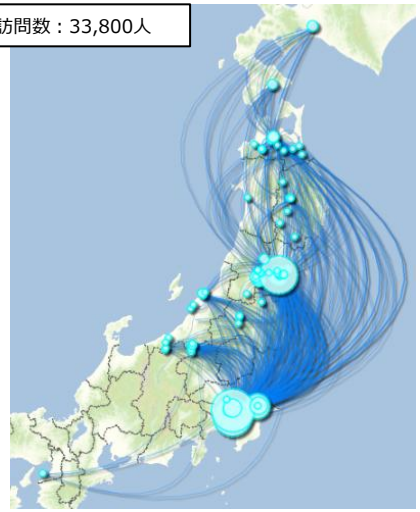
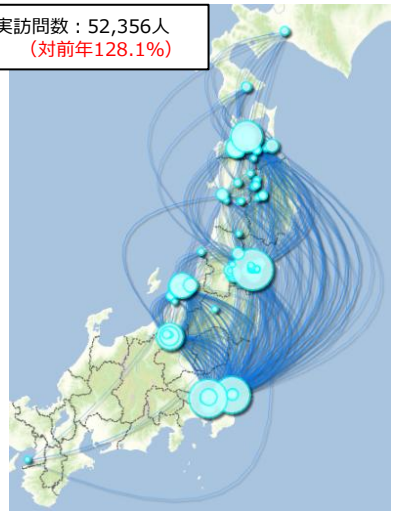
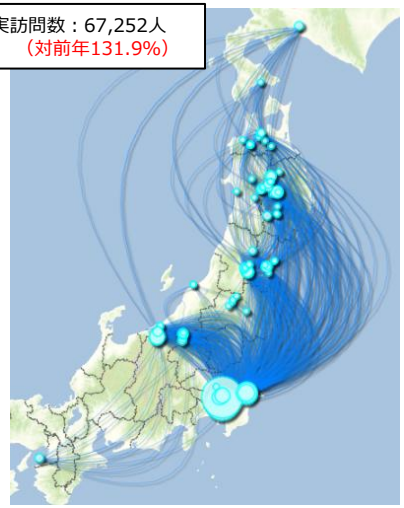
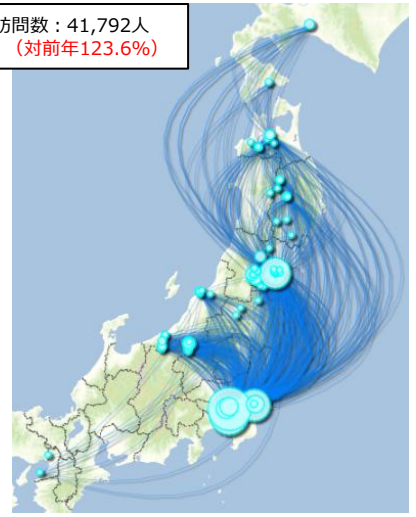
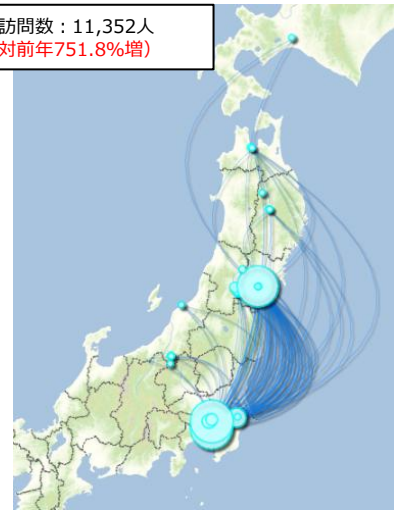
2025年1-3月　2026年1-3月

	台湾	タイ	中国	香港
2025年1-3月	実訪問数：709,946人  他市場と比較しても 域内に広く周遊している。	実訪問数：59,182人  宮城・山形を中心に周遊。 人気スポットに偏りあり。	実訪問数：118,895人  青森・宮城を中心に周遊。 北東北への集中傾向あり。	実訪問数：99,860人  東京・宮城間の周遊が中心。 新潟の訪問度合の上昇あり。
2026年1-3月	実訪問数：742,544人 （対前年104.6%）  訪問数は引き続き増加。 周遊傾向は断トツの広がり。	実訪問数：79,764人 （対前年134.8%）  仙台直行便の影響もあり訪問数が 大幅に増加。	実訪問数：73,912人 （対前年62.2%）  全国的な潮流と同じく、 訪問数の大幅な減少が確認される。	実訪問数：99,128人 （対前年99.3%）  訪問数は横ばい。 周遊は引き続き広域に展開。

出典：東北観光DMP　GPS-31（データ提供元：㈱インテージ）

■東北6県・新潟域内スポットへのインバウンド訪問動態

2025年1-3月　2026年1-3月

	韓国	オーストラリア	アメリカ	欧州
2025年1-3月	実訪問数：40,877人 	実訪問数：50,995人 	実訪問数：33,800人 	実訪問数：1,510人 
	青森・宮城・新潟に明らかな訪問集中が確認される。	新潟・岩手への訪問多数。 年間の6割弱が当期間で訪問。	宮城・青森を中心とした訪問。 都市型スポットへの訪問が中心。	域内への訪問自体が少なく、周遊もほとんど確認できない。
2026年1-3月	実訪問数：52,356人 （対前年128.1%） 	実訪問数：67,252人 （対前年131.9%） 	実訪問数：41,792人 （対前年123.6%） 	実訪問数：11,352人 （対前年751.8%増） 
	訪問が大幅に増加。 集中傾向は続くが、隣県への周遊が若干の増加傾向。	訪問が大幅に増加。 1～3月で前年の訪問者数の約75%に到達。	訪問者数の伸びが大きい。 新幹線沿線のスポット訪問傾向が更に顕著に表れている。	仙台を拠点に訪問が大幅に増加。 域内周遊の拡大が今後の課題。

出典：東北観光DMP　GPS-31（データ提供元：㈱インテージ）

■東北6県・新潟域内スポットへのインバウンド訪問動態

2026年1-3月

出典：東北観光DMP　GPS-30，31
（データ提供元：㈱インテージ）

・1-3月はスノースポットを中心に山形・新潟・宮城の周遊（他訪問合計）が上位に。北東北は岩手（猊鼻渓、花巻温泉）、青森（青森駅前東北側、同西側）がランクイン。
・昨年と同様に銀山温泉と蔵王に、周遊傾向の極端な偏りが確認されるが、蔵王は訪問数が減少傾向。
・宮城県はスノー以外のスポット（松島、ショッピング関連エリアなど）がランクインし、季節によらない訪問状況が確認される。
・宿泊率では仙台駅前南西側・青森駅などの中心部、天童や花巻温泉など温泉地が高い傾向にある。

【2026年1-3月】東北域内のインバウンド訪問スポットTOP20

＊周遊傾向（他訪問合計）で降順

スノーエリア　ショッピング

	都道府県	スポット名	実訪問数	他訪問合計	他訪問倍率	宿泊客	宿泊率
	総合計	総合計	1,216,073	4,618,407	380%	460,405	37.9%
1	宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	109,927	474,972	432%	73,505	66.9%
2	山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	↗ 59,082	↗ 330,655	560%	10,718	18.1%
3	山形県	山形市 蔵王温泉(樹氷高原周辺)	↘ 48,791	267,644	549%	1,607	3.3%
4	山形県	山形市 蔵王温泉(ﾛｰﾌﾟｳｪｲ・宿街)	↘ 38,313	↘ 196,504	513%	12,182	31.8%
5	新潟県	越後湯沢駅周辺	70,452	181,422	258%	22,116	31.4%
6	宮城県	名取市 下増田（仙台空港）	↗ 35,719	↗ 171,968	481%	0	0.0%
7	山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	30,025	150,511	501%	15,106	50.3%
8	宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	21,319	115,335	541%	777	3.6%
9	宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	27,498	112,918	411%	12,836	46.7%
10	宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	27,384	112,371	410%	23,886	87.2%
11	新潟県	ガーラ湯沢周辺	37,544	100,181	267%	11,610	30.9%
12	岩手県	一関市 東山町長坂（猊鼻渓など）	12,584	80,089	↗ 636%	0	0.0%
13	山形県	山形市 蔵王温泉（ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ～ｹﾞﾚﾝﾃﾞ）	19,893	76,655	385%	12,652	63.6%
14	青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	23,361	76,526	328%	17,685	75.7%
15	山形県	天童市 老野森（天童駅東北ｴﾘｱ）	14,184	76,381	539%	11,039	77.8%
16	宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（Sﾓｰﾙｴﾘｱ）	13,628	72,369	531%	0	0.0%
17	青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	18,649	71,850	385%	9,036	48.5%
18	宮城県	杜せきのした（ｲｵﾝﾓｰﾙ名取）	14,494	69,250	478%	0	0.0%
19	新潟県	苗場スキー場周辺	30,509	65,049	213%	15,325	50.2%
20	岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	10,745	63,364	↗ 590%	7,665	71.3%

【コメント】
●1～3月は、定番化した「スノー」を目当ての訪問客が多く、新潟を中心としたスキー場や山形県の銀山温泉・蔵王温泉への訪問に極端な集中傾向が確認される。
●一方で、蔵王温泉には訪問減少の傾向も確認される等、前年と異なる動きも見られ、オーバーツーリズムの影響が出始めていることが推察される。
●観光スポットでは銀山温泉が他訪問数最上位。
●蔵王、銀山は他訪問率5倍超と、域内周遊の目玉スポット化
●傾向として訪問の多いスポットは、日帰りでの立ち寄りが多いと推測され、宿泊率は相対的に低い傾向にある。
●花巻温泉・天童温泉は、宿泊率が訪問者に対して7割を超える。滞在（宿泊）が訪問の主な目的となっている。
●仙台駅前南西側や青森駅前東北側の宿泊率も7割を超え、移動拠点としてだけでなく、宿泊の中心スポットとしての位置づけも確認される。
●猊鼻渓や花巻温泉といった岩手県内スポットは他訪問倍率が600%前後と非常に高い。山形や宮城の人気スポットと併せての訪問が多く、広域周遊時の立ち寄りスポットとなっている。

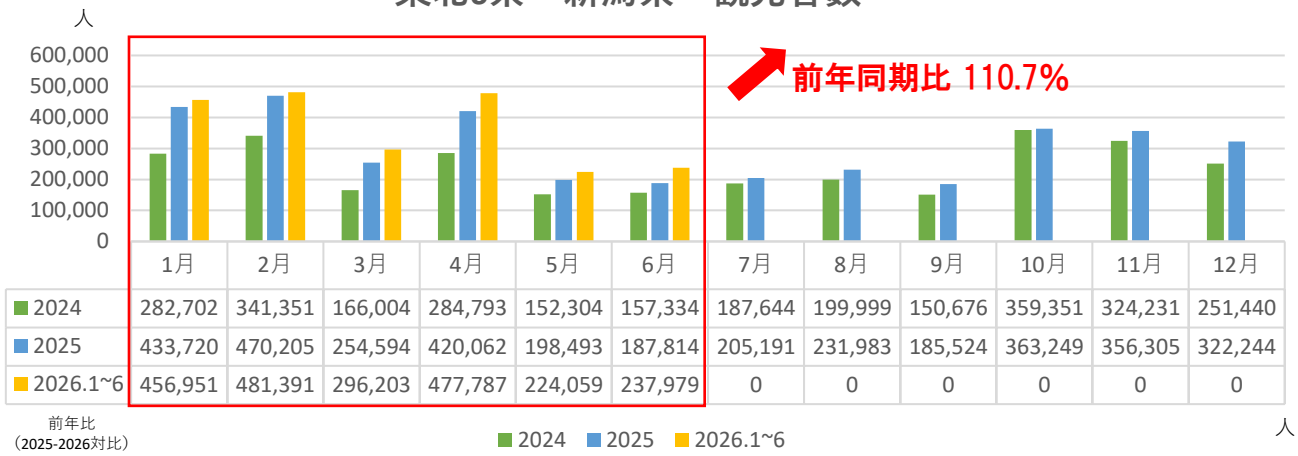
●前年と比較して仙台空港の訪問者が大きく増加。直行便の拡充などを背景に東北のハブ的立ち位置を確立している。また、近隣のショッピングエリアの訪問者も堅調に推移しており、空港と一体となった観光客の受け皿ができていると言える。

【参考】(速報)インバウンド観光客動態について(2026.1~6)

出典：東北観光DMP　GPS-10
（データ提供元：㈱インテージ）

- ✓ ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ観光客数を見ると、2026年1～6月の状況はいずれの月も前年を上回っており、1～6月の前年同期比では**10.7%増加**している。国別の割合では、台湾（55.1%）が最も多く、次いで香港（7.9%）、ﾀｲ（7.1%）、韓国（5.6%）、ｱﾒﾘｶ（5.3%）。
- ✓ 宿泊客数で見ると、2026年1～6月の状況は2月以外は前年を上回った。1～6月の前年同期比では**8.3%の増加**となっている。国別の割合では、台湾（54.9%）が最も多く、次いで香港（7.7%）、韓国（6.1%）、ﾀｲ（5.7%）、ｱﾒﾘｶ（5.6%）と続く。
- ✓ 観光客と宿泊客ともに前年と比較して韓国の伸びが大きく、宿泊では上位3か国に入っている。東北域内空港への直行便就航などが影響しているものと考えられ、継続した訪問や周遊の働きかけにより今後の拡大を図るべき市場と言える。

東北6県・新潟県　観光客数*

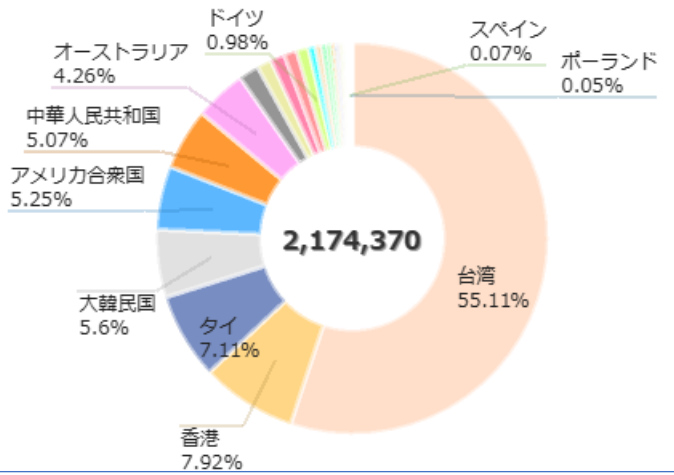


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024	282,702	341,351	166,004	284,793	152,304	157,334	187,644	199,999	150,676	359,351	324,231	251,440
2025	433,720	470,205	254,594	420,062	198,493	187,814	205,191	231,983	185,524	363,249	356,305	322,244
2026.1~6	456,951	481,391	296,203	477,787	224,059	237,979	0	0	0	0	0	0

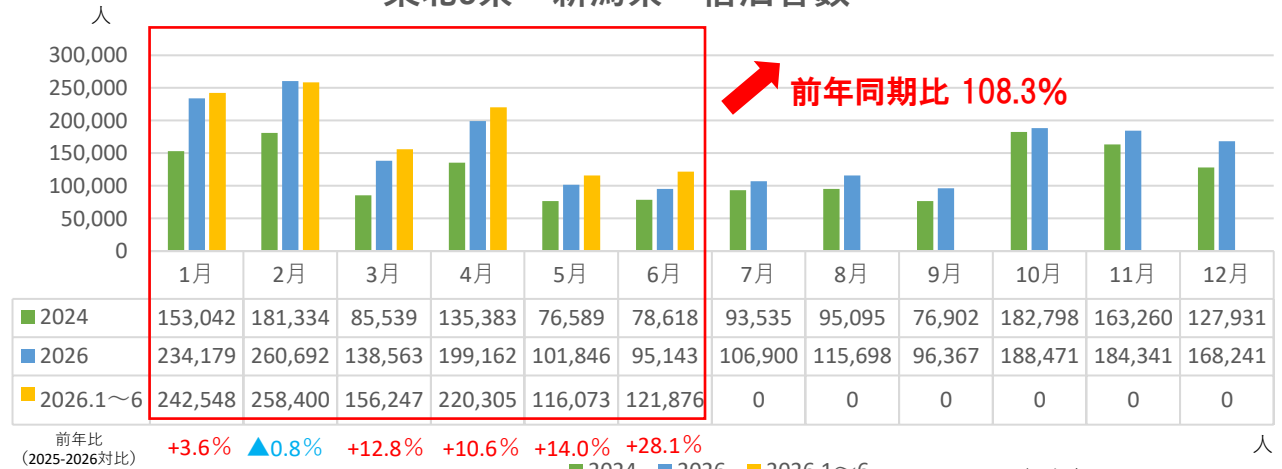
前年比（2025-2026対比）

人

◇国別観光客割合（2026.1～6）



東北6県・新潟県　宿泊客数**

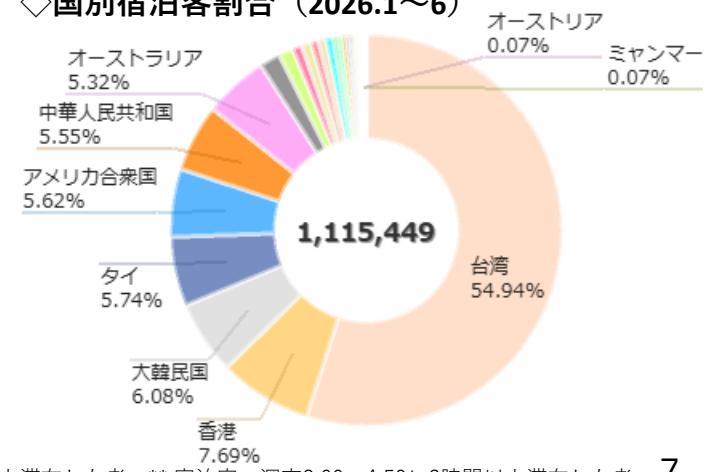


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024	153,042	181,334	85,539	135,383	76,589	78,618	93,535	95,095	76,902	182,798	163,260	127,931
2026	234,179	260,692	138,563	199,162	101,846	95,143	106,900	115,698	96,367	188,471	184,341	168,241
2026.1～6	242,548	258,400	156,247	220,305	116,073	121,876	0	0	0	0	0	0

前年比（2025-2026対比）　+3.6%　▲0.8%　+12.8%　+10.6%　+14.0%　+28.1%

人

◇国別宿泊客割合（2026.1～6）



* 観光客：10:00～17:59に2時間以上滞在した者　** 宿泊客：深夜2:00～4:59に2時間以上滞在した者

TOPIC（国内動態）
夏祭りの国内動態について

東北・新潟を代表する夏祭りについて、人流データから国内動態を分析しています。

■留意事項

①使用するデータについて

・スマートフォンの位置情報アプリを基にした人流データを使用。
・データには、拡大推計を行った数値が用いられている。
【延べ滞在数】
　・分析対象の1kmメッシュ内に20分以上滞在した者の延べ人数。

②分析対象について

・次ページからの分析には、対象となるエリアの居住者を除いた滞在数を使用しています。
（例）弘前公園　×弘前市内居住者
　　○弘前市以外の青森県内居住者、県外居住者
・居住地は、位置情報アプリのGPSデータに基づく推測から導いています。

③滞在数について

・本レポートで記載する滞在数は、集計方法や集計対象、統計処理の違いから、各イベントの主催者発表数値等とは異なる場合があります。
・来訪者人数等について統一見解を示すものではありませんのでご留意ください。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇青森県「青森ねぶた祭り」

【2026.8】青森市　※市内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
5,662,486	2,340,280	2,725,081

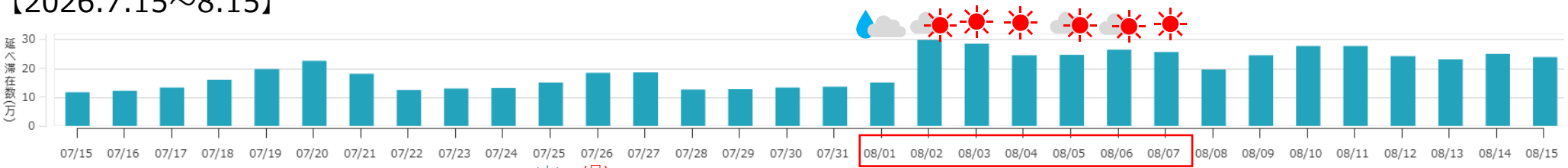
前年比▲7.1%

【2026.8.1～7】青森市　※市内居住者除く

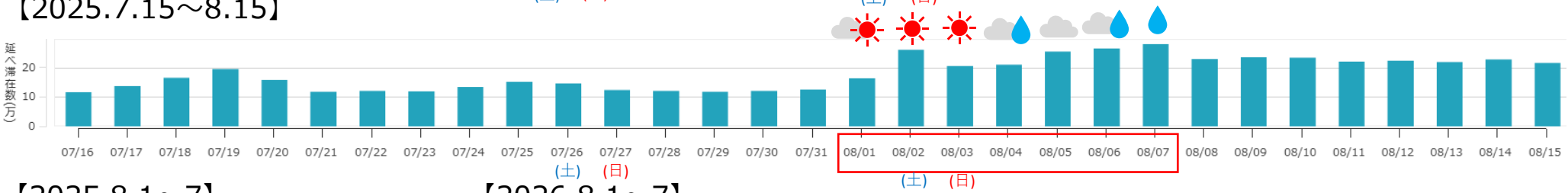
延べ滞在数	うち女性	うち男性
1,641,500	729,902	748,043

前年比▲5.8%

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.1～7】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,743,375	735,680	930,695	77,000
1	青森県	866,272	369,326	482,631	14,315
2	東京都	157,130	66,573	83,151	7,406
3	宮城県	103,989	42,444	57,218	4,327
4	神奈川県	84,201	38,093	39,429	6,679
5	北海道	72,571	28,098	39,961	4,512
6	岩手県	65,701	21,206	42,012	2,483
7	埼玉県	55,934	26,049	25,537	4,348
8	秋田県	54,755	22,762	29,251	2,742
9	千葉県	46,994	21,249	22,126	3,619
10	大阪府	21,133	8,957	8,946	3,230

県外者：877,103人

【2026.8.1～7】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,641,500	729,902	748,043	163,555
1	青森県	795,794	368,098	385,096	42,600
2	東京都	150,275	63,493	69,709	17,073
3	神奈川県	87,729	45,598	31,283	10,848
4	宮城県	83,966	37,103	39,917	6,946
5	埼玉県	64,648	28,182	27,003	9,463
6	北海道	63,314	25,800	28,423	9,091
7	岩手県	57,862	20,875	29,833	7,154
8	千葉県	53,887	24,017	21,862	8,008
9	秋田県	39,902	13,868	19,500	6,534
10	愛知県	27,956	13,908	10,080	3,968

県外者：845,706人（前年比▲3.6%）

2026年の青森ねぶた祭りは天候に恵まれたこともあり、開催期間を通して一定の滞在が確認された。
開催期間である8/1～7の青森市の滞在数を見ると、前年比で5.8%の減少となっている。居住地別の状況と照らし合わせると、青森県内在住者をはじめ、宮城県や秋田県など近隣県からの訪問数に減少が見られる一方、関東地方からの訪問は増加している都県が多い（神奈川、埼玉など）。
全体として近隣県の減少が全体数減の主要因となっている。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇岩手県「盛岡さんさ踊り」

【2026.8】盛岡市　※市内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
8,315,033	3,596,694	4,141,078

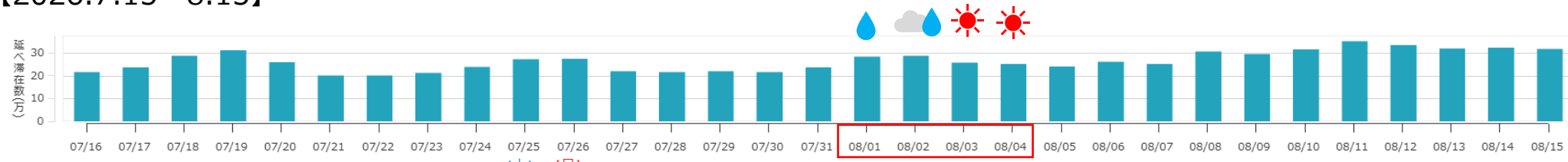
前年比▲6.7%

【2026.8.1～4】盛岡市　※市内居住者除く

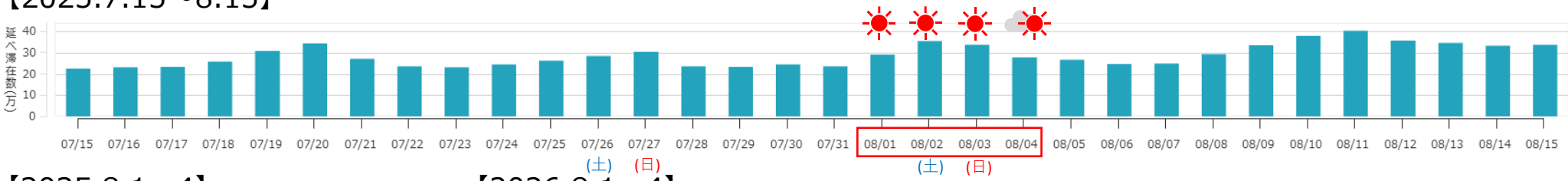
延べ滞在数	うち女性	うち男性
1,081,981	488,709	529,569

前年比▲14.0%

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.1～4】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,257,737	576,788	651,241	29,708
1	岩手県	897,061	430,753	458,572	7,736
2	宮城県	66,668	24,365	40,117	2,186
3	秋田県	51,018	23,267	26,090	1,661
4	青森県	46,083	19,124	24,726	2,233
5	東京都	45,315	18,098	25,190	2,027
6	神奈川県	22,278	9,419	11,360	1,499
7	埼玉県	16,912	7,504	7,843	1,565
8	千葉県	15,015	5,563	7,920	1,532
9	福島県	13,401	4,685	7,034	1,682
10	北海道	9,384	3,605	5,020	759

県外者：350,676人

【2026.8.1～4】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,081,981	488,709	529,569	63,703
1	岩手県	779,136	372,201	383,300	23,635
2	宮城県	58,185	19,568	32,835	5,782
3	青森県	45,003	18,417	22,103	4,483
4	秋田県	43,644	17,466	21,885	4,293
5	東京都	38,587	15,074	19,521	3,992
6	神奈川県	23,030	11,427	8,833	2,770
7	埼玉県	15,451	5,748	7,206	2,497
8	千葉県	11,974	3,932	5,467	2,575
9	福島県	11,547	2,995	6,041	2,511
10	山形県	8,030	2,776	3,652	1,602

県外者：302,845人（前年比▲13.6%）

2026年の盛岡さんさ踊りは、昨年同様に曜日並びに恵まれたものの、前年対比で14%ほどの減少となっている。特に岩手県内からの訪問が減少したことから、多数の訪問が見込まれた週末と天候の悪化が重なったことが、もっとも大きな要因と考えられる。
加えて、神奈川を除く関東地方からの訪問も前年度と比べると、若干の減少傾向が確認されている。県外者全体の滞在で見た際も、全体と同程度の訪問減少が確認される。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇宮城県「仙台七夕まつり」

【2026.8】仙台市青葉区　※区内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
17,560,915	7,612,326	9,415,662

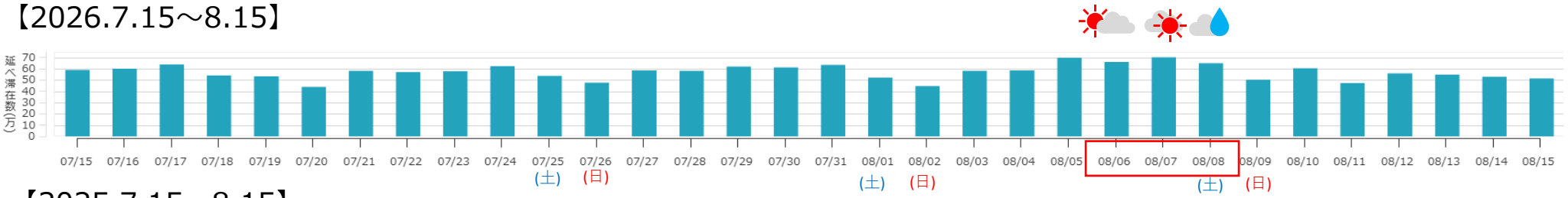
前年比▲6.7%

【2026.8.6～8】仙台市青葉区　※区内居住者除く

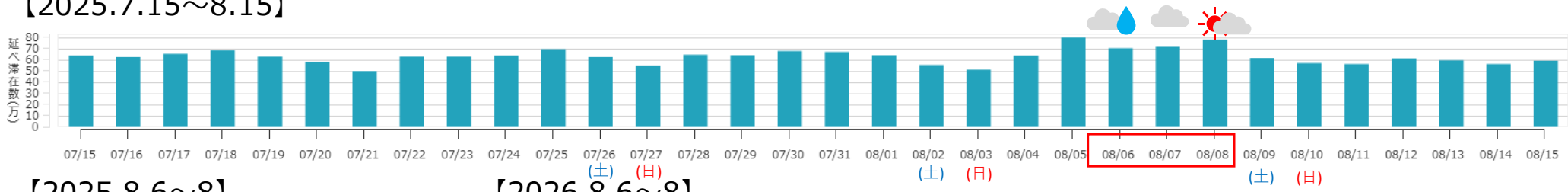
延べ滞在数	うち女性	うち男性
2,011,315	896,481	1,059,941

前年比▲8.3%

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.6～8】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	2,192,713	873,776	1,297,029	21,908
1	宮城県	1,677,232	677,000	995,699	4,533
2	東京都	81,797	31,721	48,801	1,275
3	福島県	65,453	23,816	40,706	931
4	山形県	57,612	22,308	33,537	1,767
5	岩手県	44,999	19,040	24,518	1,441
6	神奈川県	38,152	13,159	23,398	1,595
7	埼玉県	36,280	12,937	21,611	1,732
8	千葉県	27,428	9,338	17,370	720
9	青森県	21,152	10,186	10,724	242
10	秋田県	18,808	7,519	10,906	383

県外者：515,481人

【2026.8.6～8】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	2,011,315	896,481	1,059,941	54,893
1	宮城県	1,499,214	681,905	805,036	12,273
2	東京都	83,506	40,444	39,480	3,582
3	福島県	63,678	24,244	36,389	3,045
4	山形県	54,115	22,733	27,676	3,706
5	岩手県	43,535	17,516	23,396	2,623
6	神奈川県	41,553	17,581	21,500	2,472
7	埼玉県	35,316	15,644	16,304	3,368
8	千葉県	31,120	12,346	16,578	2,196
9	青森県	20,402	9,780	8,892	1,730
10	秋田県	18,266	6,764	9,597	1,905

県外者：512,101人（前年比▲0.7%）

2026年の仙台七夕まつりの状況として、開催期間の仙台市青葉区への滞在数は前年比で8.3%の減少となっている。特に宮城県内からの滞在減少が大きく、減少幅の大部分はこの減少により説明される。ほか東北隣県や関東地方からの訪問については若干の変動はあるものの、概ね昨年度と同様の滞在状況となっており、県外者のみで見た場合には、前年比0.7%の減少と横ばいの動きとなっている。
なお、傾向として女性の滞在割合が増加していることは他エリアと異なる動きとなっている。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇秋田県「秋田竿燈まつり」

【2026.8】秋田市　※市内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
5,635,148	2,316,649	2,775,559

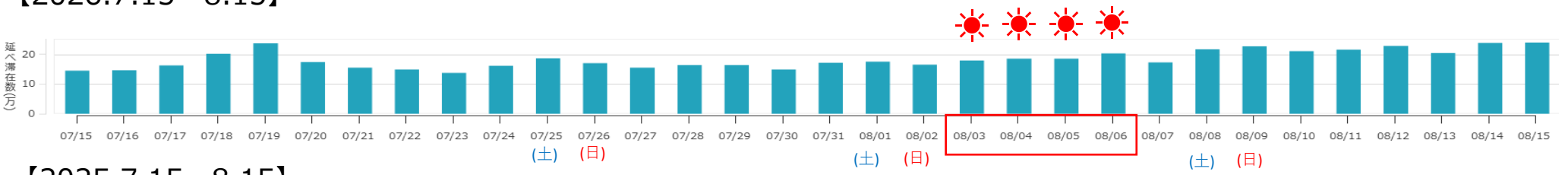
前年比▲9.1%

【2026.8.3～6】秋田市　※市内居住者除く

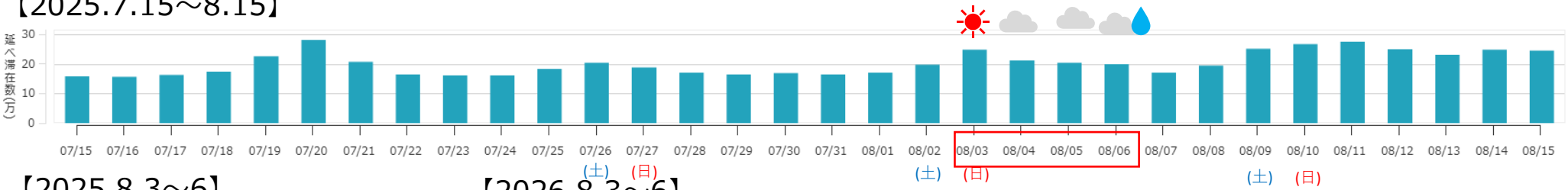
延べ滞在数	うち女性	うち男性
753,097	305,242	381,183

前年比▲12.6%

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.3～6】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	862,095	346,845	483,138	32,112
1	秋田県	570,638	241,791	319,917	8,930
2	宮城県	45,116	16,694	26,925	1,497
3	東京都	41,245	15,831	22,639	2,775
4	岩手県	30,805	8,903	19,868	2,034
5	神奈川県	20,904	7,340	11,941	1,623
6	山形県	17,322	7,534	8,916	872
7	埼玉県	16,529	5,888	8,126	2,515
8	千葉県	14,271	5,145	8,038	1,088
9	青森県	14,193	4,660	8,846	687
10	北海道	11,927	4,601	6,488	838

県外者：291,457人

【2026.8.3～6】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	753,097	305,242	381,183	66,672
1	秋田県	484,839	210,468	247,153	27,218
2	東京都	39,367	14,809	19,092	5,466
3	宮城県	33,886	11,722	18,750	3,414
4	岩手県	25,192	8,506	13,715	2,971
5	神奈川県	18,864	6,974	9,375	2,515
6	埼玉県	15,682	6,436	7,006	2,240
7	千葉県	13,487	6,404	5,520	1,563
8	青森県	13,430	3,419	8,934	1,077
9	北海道	12,585	3,870	6,950	1,765
10	山形県	9,354	3,022	5,158	1,174

県外者：268,258人（前年比▲8.0%）

2026年度の秋田竿燈まつりは、期間中の天候に恵まれたものの、前年比12.6%の滞在減少となっている。他県と同様に秋田県内在住者の訪問減少が大きい。最も大きな要因は、昨年度と異なり週末に重ならなかったことが挙げられる。
現に昨年は日曜日に重なった初日が20万人を大きく超える訪問があった一方、今年は最終日のみがようやく20万人に届いたという訪問数となっている。
平日だけの開催となる年の誘客方法が課題と考えられる。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇山形県「山形花笠まつり」

【2026.8】山形市　※市内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
6,136,875	2,591,178	3,055,565

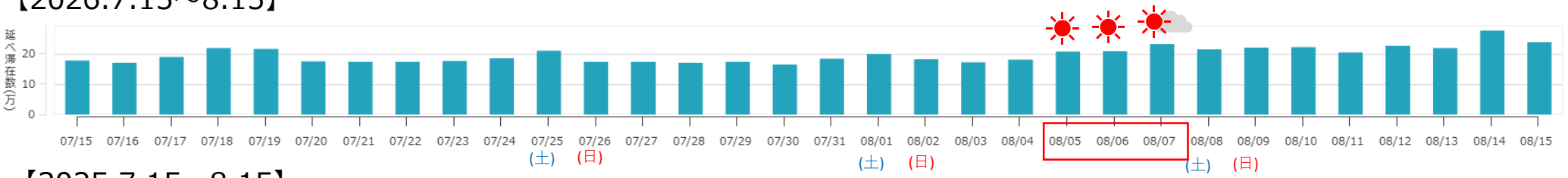
前年比▲8.1%

【2026.8.5～7】山形市　※市内居住者除く

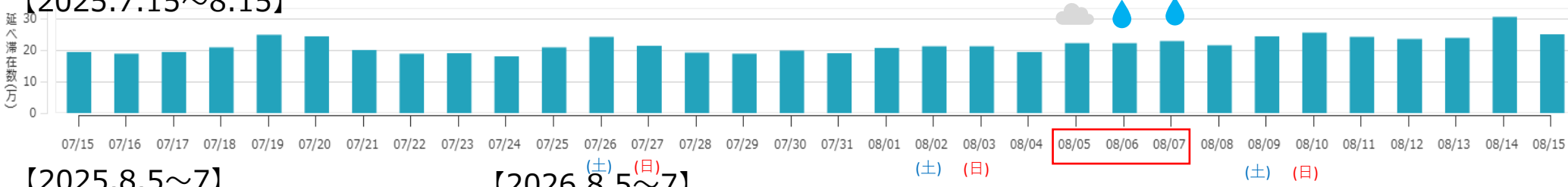
延べ滞在数	うち女性	うち男性
643,029	270,239	327,161

前年比▲4.6%

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.5～7】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	673,945	274,515	380,017	19,413
1	山形県	503,285	217,834	278,812	6,639
2	宮城県	50,441	13,247	34,857	2,337
3	東京都	22,627	7,144	13,638	1,845
4	福島県	16,109	4,794	10,862	453
5	神奈川県	13,191	5,395	7,031	765
6	埼玉県	12,595	4,607	6,745	1,243
7	千葉県	7,718	2,194	4,850	674
8	新潟県	5,869	2,196	3,108	565
9	秋田県	4,403	1,861	2,265	277
10	岩手県	4,375	1,438	2,747	190

県外者：170,660人

【2026.8.5～7】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	643,029	270,239	327,161	45,629
1	山形県	466,270	209,497	239,427	17,346
2	宮城県	57,928	17,900	33,090	6,938
3	東京都	19,632	7,739	7,945	3,948
4	福島県	14,628	3,913	8,297	2,418
5	神奈川県	11,169	4,171	5,846	1,152
6	埼玉県	9,154	3,668	3,765	1,721
7	千葉県	8,728	3,818	3,954	956
8	新潟県	6,664	1,660	2,560	2,444
9	秋田県	5,666	3,421	2,013	232
10	岩手県	5,376	2,448	2,358	570

県外者：176,759人（前年比+3.6%）

2026年の山形花笠まつりは、会期中の山形市の滞在数で前年比4.6%の微減となっている。東京や神奈川など関東地方からの訪問に減少が見られるが、宮城・新潟・福島・秋田・岩手など、隣県からの訪問に増加が見られることが特徴。県外者のみの滞在を見ると、前年比3.6%の増加となっている。期間中天候に恵まれた状況ではあるが、山形県内からの滞在数に大幅な減少が見られることから、県内在住者の訪問意向の低下が確認される。または人口減の影響の現れと推察することもできる。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇福島県「福島わらじまつり」

【2026.8】福島市　※市内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
5,982,752	2,220,410	3,141,657

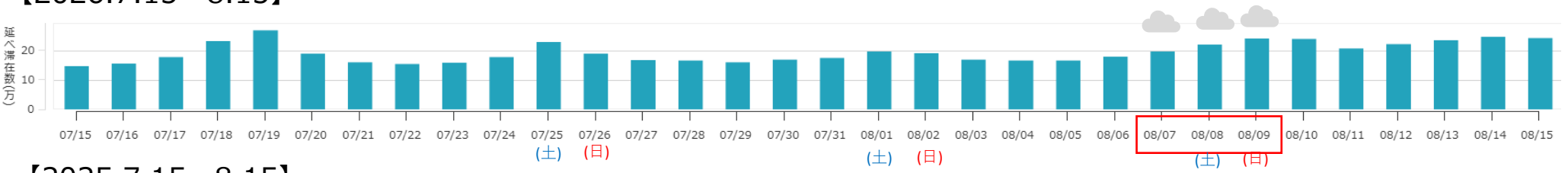
前年比▲7.3％

【2026.8.7～9】福島市　※市内居住者除く

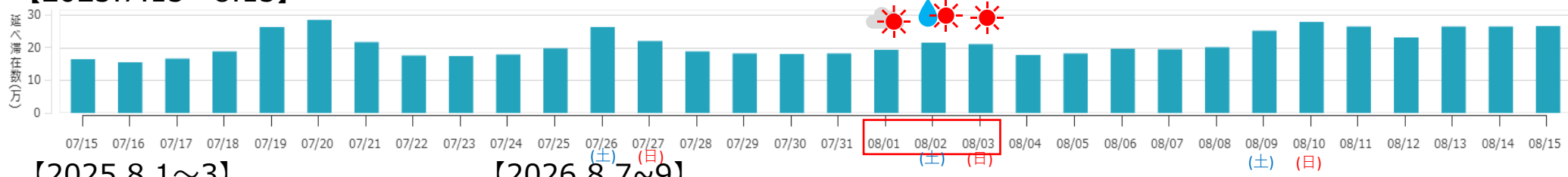
延べ滞在数	うち女性	うち男性
658,712	249,798	337,293

前年比＋6.3％

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.1～3】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	619,709	238,063	356,910	24,736
1	福島県	393,653	161,853	221,765	10,035
2	宮城県	66,894	21,475	42,286	3,133
3	山形県	37,284	14,622	21,189	1,473
4	東京都	21,725	7,249	12,641	1,835
5	埼玉県	14,506	3,927	8,609	1,970
6	神奈川県	12,633	3,837	7,482	1,314
7	栃木県	12,483	5,273	6,327	883
8	茨城県	10,209	3,947	5,388	874
9	千葉県	9,525	3,344	5,576	605
10	岩手県	6,140	2,384	3,630	126

県外者：226,056人

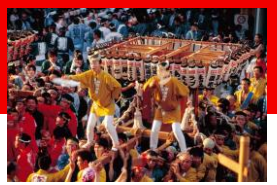
【2026.8.7~9】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	658,712	249,798	337,293	71,621
1	福島県	345,113	140,089	180,404	24,620
2	宮城県	74,309	23,924	41,236	9,149
3	東京都	46,384	15,656	21,681	9,047
4	山形県	30,163	12,704	13,704	3,755
5	埼玉県	26,535	10,163	13,228	3,144
6	神奈川県	25,942	9,814	12,185	3,943
7	千葉県	18,223	6,579	9,337	2,307
8	栃木県	15,892	5,460	8,214	2,218
9	茨城県	13,694	6,333	5,485	1,876
10	新潟県	9,251	3,437	4,661	1,153

県外者：313,599人（前年比＋38.7%）

2026年の福島わらじまつりは、福島市の滞在で前年比6.3%増加している。昨年度と比較すると、福島県内からの訪問は減少も、近隣県や関東地方からの訪問は増加している都県が多い。県外からの滞在は前年比38.7%と大幅に伸長。要因としては、一週間開催日が遅くなったことで、東北の他の夏祭りとの日程の重なりを回避できたこと、お盆休みと日取りが近接したことなどから、訪問の誘因に繋がった可能性が考えられる。
＊8/8は雷雨のため本祭りが中止されたが、滞在への影響は少ないことが確認される。

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について



出典：東北観光DMP　GPS-25
（データ提供元：㈱Agoop）

◇新潟県「新潟まつり」

【2026.8】新潟県中央区　※区内居住者除く

延べ滞在数	うち女性	うち男性
11,383,967	5,060,123	5,933,542

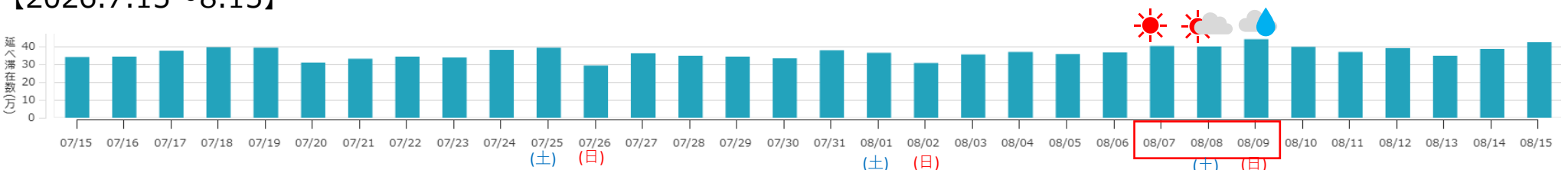
前年比▲5.4％

【2026.8.7～9】新潟県中央区　※市内居住者除く

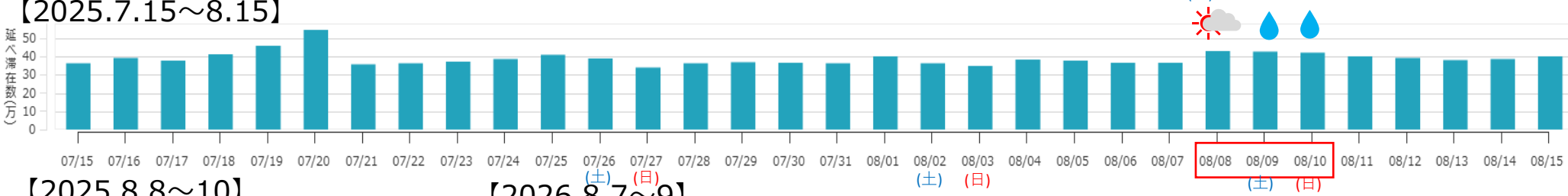
延べ滞在数	うち女性	うち男性
1,246,835	572,196	634,485

前年比▲2.6％

【2026.7.15～8.15】



【2025.7.15～8.15】



【2025.8.8～10】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,280,037	523,878	737,983	18,176
1	新潟県	997,455	421,564	572,647	3,244
2	東京都	59,725	20,205	36,927	2,593
3	神奈川県	31,120	10,990	18,393	1,737
4	埼玉県	29,807	10,355	17,927	1,525
5	千葉県	20,824	7,646	12,760	418
6	群馬県	15,337	6,299	8,489	549
7	山形県	14,854	5,913	7,930	1,011
8	福島県	13,862	4,543	8,793	526
9	長野県	13,275	4,800	7,404	1,071
10	宮城県	8,561	4,085	3,789	687

県外者：282,582人

【2026.8.7～9】

		総合計	女性	男性	なし
	総合計	1,246,835	572,196	634,485	40,154
1	新潟県	977,100	469,244	500,961	6,895
2	東京都	58,132	25,059	28,140	4,933
3	神奈川県	30,046	12,580	13,683	3,783
4	埼玉県	29,269	9,003	15,608	4,658
5	千葉県	19,342	6,984	11,033	1,325
6	福島県	15,330	8,052	5,553	1,725
7	群馬県	11,811	4,169	6,620	1,022
8	宮城県	11,338	3,855	6,391	1,092
9	長野県	10,047	3,949	3,537	2,561
10	山形県	9,607	3,527	5,134	946

県外者：269,735人（前年比▲4.6%）

2026年度の新潟まつりを見ると、開催期間の新潟県中央区の滞在数は、前年比2.6%減とほぼ横ばい。同じく週末に合わせた開催となっており、天候面での不安定さはあったものの、総じて昨年度同程度の訪問がなされている状況が確認できる。
県外滞在者は、宮城・福島からの訪問は増加しているが、山形は減少している。県外者の滞在は前年比4.6%の減少となっている。(後述のJTBによる調査を踏まえると、この減少幅は全国的な傾向を反映したものと言及できる)

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について

【参考】2026年夏休み（7月15日～8月31日）の旅行動向　＊株式会社JTBによる旅行動向見通し調査から引用

・夏休みの総旅行者は7,117万人（対前年95.4%）
　総旅行消費額は4兆474億円（対前年98.3%）
・うち、国内旅行は旅行者数が6,900万人（**対前年95.6%**）
　平均旅行予定費用は48,500円（**対前年103.2%**）、旅行消費額が3兆3,465億円（対前年98.6%）

➡旅行者数は、給与所得や夏のボーナスの増加が見込まれる一方、それを超える節約志向の高まりにより、昨年よりやや減少を予測。
　平均旅行予定費用（単価）は、物価等の上昇が価格に転嫁された影響を受け、昨年に引き続き上昇の見込み。消費者は自ら価値を感じるものには支出を維持するなどメリハリ傾向。

その他 特徴的なこと、、、

・旅行時の暑さ対策として、屋内施設での滞在や移動を最小限におさえた観光、早朝・夜間の涼しい時間帯の観光への関心が高まっている。
・東北は、夏祭りなど季節ならではのイベントを目的とした旅行が人気。

【引用元】
『2026年夏休み（7月15日～8月31日）の旅行動向』 株式会社JTB
URL：https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2026/07/02_jtb_doukou.html

＊1泊以上の日本人の旅行について、各種経済動向や消費者行動調査、運輸・観光関連データ、JTBグループが実施したアンケート調査などから推計

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について

【参考】他社提供のアンケート調査からみる夏祭り来訪者の反応

＊各祭りへの反応を主に共通する項目を抽出して記載

【ポジティブ】
- お祭りの熱気や迫力がすごい。盛り上がりが最高！
- 伝統を感じることができた。
- お祭りと合わせて、観光やグルメを楽しんだ。

【ネガティブ】
- 駐車場が少ない。公共交通機関（バス・電車など）での移動をしやすくしてほしい。
- 人混みがすごくて見づらい。落ち着いて観ることができる場所が無かった。
- トイレが少ない。ゴミ箱が少ない。

その他 特徴的なこと、、、

・各お祭りへの再訪意向は7祭りすべてで86%を超えて高い。満足度については幅があり、天候不順などで観覧に影響のあった祭りは、低い評価が集まりやすい傾向。

・お祭り訪問に伴う宿泊費は、『1万円以上～2万円未満』がボリュームゾーンとなっている。
（なお、特に青森ねぶた祭において高額の宿泊費回答が多い傾向にあった）

・ほか消費の面では、飲食費とその他経費（おみやげなど）でそれぞれ『5,000円未満』の回答が最も多かった。

【引用元】ジオテクノロジーズ株式会社
『位置情報で、これまで把握が難しかった来訪者の声をデータ化 満足度・再訪意向・消費行動を可視化、交通や会場設備への要望も明らかに』
URL：https://geot.jp/info-20261030/

＊アプリのGPSデータを基に訪問エリアを特定し、対象とするユーザーへのアンケート調査を実施
＊調査対象の夏祭り：青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり、長岡まつり大花火大会

■東北・新潟　8月（夏祭り）の国内動態について

2026年8月（夏まつり）の国内動態　まとめ

◇考察

- ✓ 7県共通している状況として8月の延べ滞在数が減少傾向にあり、それと一致する形で夏祭り会期中の延べ滞在数が減少となっている。特に夏祭り開催県内における延べ滞在数に大きな減少が見られる。一方で、県外からの滞在については全体の滞在と比較すると減少幅は小さいものの、多くの夏祭りで減少基調にある。人口減少や高齢化などの社会的要因を考慮しても、今後東北域内からの滞在者の自然減は継続する可能性が考えられる。また、今年は9月に大型連休が控えていたことから、8月の猛暑を避けてシルバーウィークの旅行に分散した可能性も指摘される。
- ✓ 一方で、開催時期がほかの祭りよりも遅かった「福島わらじ祭り」では滞在の増加が確認されており、週末やお盆休みとの接続は誘客の大きな要因であると仮説を立てられる。
- ✓ JTBが発表した調査結果から、今夏の国内旅行動向は旅行者数で4.4%減少の見通しとされている。物価高や燃料費高騰を背景に旅行控えの動きが強かったものと推察される。
- ✓ また、ジオテクノロジーズのアンケート調査から、夏祭り訪問者の再来訪意向は高い傾向である一方で、交通や駐車場への要望は7祭りすべてに共通し、トイレや観覧席への要望も複数の祭りで見られた。

◇キーワード

開催県内からの延べ滞在数の減少、夏の猛暑と9月の大型連休、全国的な旅行控え、夏祭り再来訪意向が高いこと

今後の取組は？

▶考察から考えられる取組例

・夏祭りへの再来訪意向が高いことに注目し、減退傾向が見られる旅行に対するモチベーションを上げるようなプロモーションの実施。（リピーター向けの施策、夏祭りと合わせた観光PRなど）
・9月のシルバーウィークなど年間の連休を踏まえ、夏祭り会期中の特に県外からの早期予約を促すようなプロモーションの実施。（早期予約特典等の検討、予約時期に応じたダイナミックプライシングなど）

＊なお今回分析は国内動態に限っての分析としており、夏祭りにも来訪が増加しつつあるインバウンド観光客の動態を含めた分析を行った場合、異なる結論となる可能性を内包しております。